

## 臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはありません。

研究課題名	肺癌の幹細胞化と治療抵抗性に関する後方視的研究
研究機関名	金沢医科大学
研究機関の長	学長: 神田 享勉
研究責任者	金沢医科大学 呼吸器外科 本野 望
研究期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2025 年 3 月
対象者	平成21年～令和元年の間に当院呼吸器外科にて根治術を受けた肺癌患者さんの内、解析に十分な組織量を有する浸潤癌の患者さん。
当該研究の意義・目的	肺癌の治療抵抗性は癌組織の不均一性や、複数の分子経路による浸潤・転移能、癌幹細胞による自己複製能・多分化能にあると考えられています。本研究は肺癌におけるスフィンゴリン脂質を含む分子と幹細胞化の関係性を解明し、治療抵抗性の機序を解明することで、肺癌の治療効果の向上を目指します。
方法および研究で利用する試料・情報について	肺癌腫瘍組織の浸潤先進部における cancer stem cell (CSC) の同定と、S1P産生とCSCによる細胞内シグナル伝達の解析を行います。それにより、スフィンゴリン脂質およびMMPの発現と予後との関係を調査いたします。 使用される試料は、金沢医科大学呼吸器外科で手術時に切除された肺癌組織浸潤先進部の余剰となった新鮮・凍結組織を用います。また、電子カルテより、年齢、病理所見などを使用させていただきます。集められた情報・試料は個人情報削除の上使用されます。そのため、患者さんの個人情報が学会などで公表される事はありません。この研究では過去の診療・手術時に集められた検査データや試料が使われます。そのため、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。 研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。なお、得られた試料は研究発表後5年間保管、研究データは、研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。 この研究ではゲノム情報の取扱いはありません。
外部への資料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはありません。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますので申し出下さい。
二次利用について	追加研究が必要になった場合は他の研究などに使われる可能性があるが、その場合でも研究について倫理審査委員会の審査を受け、学長等の許可を得た後、使用することを告知したうえで使用します。

問合せ先	その他、この研究に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学 呼吸器外科 本野 望 住所:石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎: 076-286- 2211 内線(5721)
------	--

作成日: 2022年07月01日